政治専攻「演習Ⅰ」
第Ⅰ期第２次募集

【目次】

1. 募集について　２頁

2. 募集に関する注意事項　３頁

3. 選考方法　３頁

4. ゼミ内容　５頁

- 苅田　真司 先生　４頁
- 芝崎　祐典 先生　５頁
- 藤嶋　亮 先生　６頁
- 山本　健太郎 先生　７頁
- 濱村　仁 先生　８頁

1. 募集について

【募集スケジュール】

第　Ⅰ　期　第　１　次　募　集
終了しました

※第Ⅰ期第２次募集の実施は第Ⅰ期第１次募集の応募状況によって決定します。実施する場合、すべての教員に応募できるとは限りませんので、予めご了承ください。

第　Ⅰ　期　第　２　次　募　集	
応　募　期　間	2026年10月29日（木）正午～11月６日（金）12時50分
選　考　期　間	2026年11月９日（月）～11月13日（金）
合　否　発　表	2026年11月16日（月）20時予定　K-SMAPYⅡにて

※第Ⅰ期第２次募集において、全１年生が登録できていない場合に限り、未確定者を対象に第Ⅰ期第３次募集を行います。

【応募方法】

K-SMAPYⅡより

※ログイン後、上部バナー「共通」から「アンケート回答」より応募してください。
※K-SMAPYⅡからの応募がなく面接を受けるまたは課題提出だけをしているケースがありましたので必ずK-SMAPYⅡからの応募も行ってください。応募がない場合は無効になります。

2. 募集に関する注意事項

(ア) 上記の募集期間に必ず応募してください。応募期間外の応募は認められません。
(イ) K-SMAPY Ⅱからの応募がなく、面接を受ける、または課題の提出だけをしているケースがありましたので、必ず K-SMAPY Ⅱから応募も行ってください。
(ウ) 担当教員によって選考方法（面接・レポート・テストなど）は異なります。「選考方法」で必ず内容を確認の上、応募するようにして下さい。
(エ) 毎年ありますが、提出期限を超えたリポートの提出は認められませんし、面接時間への遅刻・面接の欠席に関する取り次ぎはいたしません。
(オ) 政治専攻では、同一年度に複数ゼミを受講することが出来ます。2 つ目のゼミを希望する場合には 11 月に行われる**第 2 期募集**で応募できます。
(カ) ゼミに合格後、他のゼミへの変更はできません。
(キ) 各教員の連絡先は個人情報のため、お教えできません。
(ク) ゼミ応募に関する問い合わせ先は以下のとおりです。

【問い合わせ先】

教務課	①9 時～12 時 50 分　②13 時 50 分～20 時 30 分
法学資料室（若木タワー7 階）	①9 時～17 時

※月曜日～金曜日で受け付けます。
※日曜日・祝日は学年暦に準じ、授業実施日に限り開室いたします。

3. 選考方法

希望する教員の選考方法を確認してください。

例年、リポートの提出期限や面接日時を間違えているケースがありますので、ご注意ください。

教員名	選考方法	提出方法・リポート締切日時 面接日時	リポート内容 面接教室	備考
苅田　真司	リポート	面接時持参	自己紹介とゼミの志望理由	書式：A4 字数：1000 字程度
	面接	11 月 13 日（金） 12 時 10 分～	0712 研究室	
芝崎　祐典	リポート	面接時持参	(1) ゼミ志望理由 (2) 勉強の中で今まで最も関心を持ったこと	書式：word 字数：800 字～1000 字
	面接	11 月 12 日（木） 18 時 00 分～	3310 教室	
藤嶋　亮	リポート	メール送付 rfujishima@kokugakuin.ac.jp 11 月 6 日（金）12 時 50 分	簡単な自己紹介、ゼミの志望理由、関心のある政治・社会問題について	書式：自由 ただし、必ず連絡がつくメールアドレスをレポートに記載してください 字数：それぞれ 400 字程度で、合計 1200 程度
	面接	11 月 13 日（金） 12 時 10 分～13 時 10 分	オンライン	
山本 健太郎	リポート	メール送付 kenyamamoto@kokugakuin.ac.jp 11 月 6 日（金）12 時 50 分	ゼミの志望理由	書式：自由 字数：500 字
	面接	11 月 12 日（木） 15 時 00 分～17 時 00 分	オンライン または 0819 研究室	
濱村　仁	リポート	メール送付 hamamura@kokugakuin.ac.jp 11 月 6 日（金）12 時 50 分	関心のある国際問題とその理由	書式：Word ないし PDF 字数：自由
	面接	11 月 13 日（金） 15 時 00 分～18 時 00 分	オンライン	

4. ゼミ内容

【目次に戻る】

教員名	苅田　真司
演習テーマ	資本主義と政治
演習内容	私たちの社会が採用している経済のしくみは資本主義と呼ばれます。その特徴は政治にも大きな影響を与えます。 現代のデモクラシーの下で政治に参加する市民は、同時に、資本主義の下で経済活動を行う人たちでもあります。したがって、現代の政治においては、政府がとる経済政策が重要な争点となります。現代の政治や政策を理解する上では、資本主義を理解することが欠かせません。 この演習では、資本主義の基本的な構造を理解するとともに、それが生み出す人間像や政府の経済政策の前提条件について、思想史的・哲学的観点から幅広く考えてみたいと思います。 演習は、指定されたテキストを読み、担当者が報告した後で、全員で討論する形で行われます。また、演習参加者には、自分で決めたテーマについての論文を執筆してもらい、論文報告会で報告してもらいます。 選考にあたっては、議論に積極的に参加する意欲のある人を優先します。
教科書	品川皓亮、『資本主義と生きていく　歴史と思想で解き明かす「構造的しんどさ」の正体』、大和書房、2026 年 ジョセフ・ヒース、『資本主義が嫌いな人の経済学』、早川書房、2026 年 などを予定
参考文献	重田園江、『ホモ・エコノミクス　「利己的人間」の思想史』、ちくま新書、2022 年 中山元、『労働の思想史　哲学者は働くことをどう考えてきたのか』、平凡社、2023 年 などを予定
備考	・面接日に都合が悪い等の連絡や、演習内容についての質問は、karita@kokugakuin.ac.jp までメールで送ってください。

【目次に戻る】

教員名	芝崎　祐典
演習テーマ	国際関係の歴史
演習内容	国際関係について、歴史を通じて考えます。対象とする時期は主に 20 世紀から現代までですが、テーマによってはそれ以前の時代にもさかのぼります。地域としてはアメリカ、ヨーロッパ、日本を中心に扱います。 この演習で考えたいのは、国家間の外交や戦争だけではありません。ナショナリズム、言語、宗教、芸術、感情や「ものの考え方」など、一見すると国際政治とは離れているように見えるさまざまな文化的要素が、国際関係とどのように結びついてきたのかを考えていきます。 前期は、国際関係を考えるうえで重要な古典的文献を輪読します。担当箇所について発表してもらい、それをもとに参加者全員で討議します。課題文献は分量が少なくなく、内容も密度の高いものです。簡単に答えの出ない問題について、文献を丁寧に読み、自分で考え、他の参加者と議論することを楽しめる学生を歓迎します。 後期はグループ研究を行います。あらかじめ設定されたテーマ群をもとに、各グループで話し合いながら具体的な研究テーマを決め、資料を集めてリサーチを進めます。最後に、その成果をまとめて発表してもらいます。 あわせて、期末には各自が自分で設定したテーマについて個人で研究を行い、ゼミ論（研究論文）として提出してもらいます。 （＊授業の進め方は、参加人数に応じて適宜調整します。）
教科書	開講時にご案内します。
参考文献	随時ご紹介します
備考	ゼミに応募を希望する学生は、以下のレポートを Word で作成して面接時に持参してください。(1) ゼミ志望理由、(2)勉強の中で今まで最も関心を持ったこと（国際関係論や国際関係史に限らず、何の分野でも良い）：この二つを盛り込んで自由に文章を作成してください。

【目次に戻る】

教員名	**藤嶋　亮**
演習テーマ	ナショナリズムの現在・過去・未来
演習内容	「グローバル化」の時代といわれる今日においても、ナショナリズムは弱まる気配はなく、むしろその影響力を増しているように見られます。また、ナショナリズムは、日常生活での情緒・感情と結びついた現象（スポーツでの代表チームの応援など）であると同時に、国際政治を左右するような高度な原理という多面的な性格を持ち、そのあらわれ方も時代や地域によって大きく異なります。本演習では、主に政治現象としてのナショナリズムに焦点を合わせ、その歴史的変遷や多様なあり方、今後の展望などについて考察してみたいと思います。授業の進め方としては、前期はナショナリズムをテーマとした必読の新書・概説書、後期はナショナリズム論の古典的文献を全員で読み進めます。後期はさらに、参加者が関心を持った個別テーマの報告を行います。また、初回の授業時に、各回の担当班を決定し、第２回目以降、発表と全員が毎回事前に提出するコメントに基づき、内容の確認や検討、討論を行います。取り上げるテキストはいずれも骨太の内容であり、関係するテーマ・領域も多岐にわたりますので、自分なりの関心・問題設定に基づいて、毎回の演習に臨む姿勢が期待されます。
教科書	塩川伸明『民族とネイション』（岩波新書、2008 年）、藤原帰一『戦争を記憶する』（講談社現代新書、2001 年）、オリヴァー・ジマー『ナショナリズム　1890－1940』（岩波書店、2009 年）など。
参考文献	授業の中で適宜紹介します。
備考	

【目次に戻る】

教員名	**山本　健太郎**
演習テーマ	日本の政党を考える
演習内容	政党は、現代の民主政治において欠かせないもので、日本のみならず全世界に見られます。しかし、既存の政党が何のためにあり、そもそも世の中の役に立っているのかと聞かれたら、明快に答えることはできるでしょうか。実際、欧米などでは、既存の政党に対する不信感の高まりが一つの要因となって、ポピュリスト（政党）が支持を集める事態になっています。 このゼミでは、日本の政党を題材に、政党の役割やその必要性、さらには今後の政党のありようなどについて考えます。前期は文献を読んだうえで、教員が与えたテーマでグループ討論を実施する形を基本とします。また、いくつかの政党グループに分かれて各党の政策を調べ、討論会を実施することも検討しています。後期は、各自で少なくとも一つの政党（日本に限らない）について調べ、分析したうえで個人報告を行ってもらいます。 取り上げる政党は多岐にわたります。自民党はもちろんのこと、国民民主党や民主改革の会、公明党といった政党に加え、共産党や社民党などの古参政党、さらには参政党やNHK党などネットで存在感のある（あった）政党も分析対象とします。これら特定の政党に興味があるという人はもちろんですが、現時点で政党についての知識は十分にないけれど、日本政治の現状について問題意識や興味があり、深く学びたいという人も歓迎します。ただし、特定の政党を応援したり非難したりすることがゼミの目的ではありませんので、そのような意図を持った参加はご遠慮ください。 出席は基本的に義務ですので、やむを得ず欠席する場合は事前連絡が必要になります。無断欠席が続く場合は、不可／除籍とすることがあります。 なお志望理由レポートには、①メールアドレスと学籍番号・学年・氏名、②面接予定日10/22（木）の指定時間帯の都合が悪い人は、その旨記載しておいてください。
教科書	ゼミで指示します
参考文献	ゼミで適宜紹介します。
備考	面接時間はメールで各自に通知しますので、レポートにメールアドレスを必ず記載してください。面接は対面での実施を基本としますが、指定時間帯の都合がつかない場合など、オンラインで実施することもできるので、ご希望があれば面接時間を通知した際にお知らせください。

【目次に戻る】

教員名	**濱村　仁**
演習テーマ	現代国際政治を理論的に読み解く
演習内容	この演習では、現代のさまざまな国際問題を深く理解するために役立つ国際政治学の理論的視座を学び、それを実際に用いて自分の関心のある国際問題を分析してみることを目的とします。そのために、前期には定評のある理論的文献の講読を行い、後期には各自が選んだテーマに基づいて論文を執筆します。（人数などを考慮して、後期にも文献講読を織り交ぜる可能性があります。）毎回、報告者がレジュメを作成して報告を行い、他の参加者は問題を提起して、全員で議論します。
教科書	開講時に指定するが、現在検討しているものの一つとして、篠田英朗『国際紛争を読み解く五つの視座――現代世界の「戦争の構造」（講談社選書メチエ）』（講談社、2015 年）。
参考文献	開講時に指定
備考	レポートには、氏名、所属、学年、メールアドレスを明記してください。 レポートの提出時には、メール件名に「濱村ゼミ志望」と書いてください。 書かれている面接日時では都合がつかない場合は、メールでレポートを提出する際にその旨をあらかじめ伝えてください。